

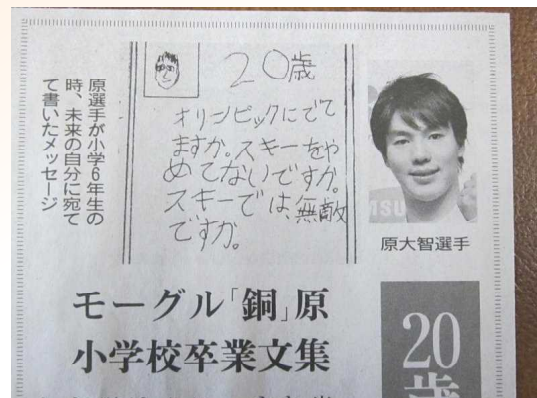


卒業を祝う会

ありがとう 6年生

2月22日(木)、学校行事の大きな一つである「卒業を祝う会」がありました。各学年の発表、職員の発表、全員合唱、川内南幼稚園児の発表で卒業を祝いました。6年生からもお礼の発表がありました。どの学年も授業の合間を使うなど、限られた時間のなかで仕上げた合唱や合奏、演技で6年生に感謝を伝えました。お世話になった6年生への感謝のための発表ですが、6年生も含めて各学年の一人一人が協力して練習を重ね、作品を仕上げ、本番を迎え、やり遂げたという事実が教育的に価値のあることです。ステージに向かう子供たちから「緊張する」という言葉を何回も聴きました。この緊張感を体験することも成長への大事な体験だと思います。

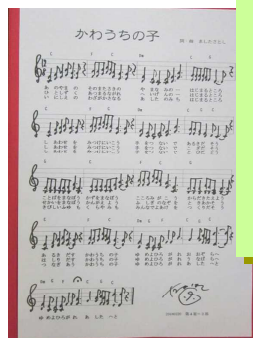
リアルタイムで韓国で開催されている冬季オリンピックの話をしました。日本人で最初にメダルを取ったモーグルの20歳の原大智選手は、小学校の卒業文集の20歳の自分へのメッセージに「20歳、オリンピックに出てますか。スキーをやめてないですか。スキーで無敵ですか。」と書き残しています。8年後、原選手は自分が設定した将来の夢を見事に実現させました。あきらめず、ねばり強く努力をしたからだと思えますと、6年生へメッセージを語りました。



かわうちの子

落語を演じたり、ギターを弾いたり多才な高橋先生ですが、今度は「かわうちの子」という歌を作ってくださいました。3番まで歌詞がありますが、1番だけ紹介します。山並みの始まり、がんばってどんどん登って行って、天まで上るというイメージだそうです。2番は鳴神山や山田川が、3番は白滝神社が歌詞のイメージに盛り込まれています。

卒業を祝う会で、職員合唱として披露しました。ちなみに、ましたさとしては高橋先生のペンネームです。



かわうちの子
詞・曲 ましたさとし

あの山の そのまたさきの
山並みの 始まるころ
幸せを見つけに行こう
手をつないで 歩きだそう
ことばを学ぼう 数を学ぼう
心みがこう からだ鍛えよう
歩き出す かわうちの子
夢よ広がれ 青空へ

